

装着型サイボーグHAL[®]による

異次元のリハビリプログラム



膝や肘などの曲げ伸ばし運動をアシストする、HAL[®] 単関節タイプ。小型で軽量なため、ベッドで横になった状態でも使用することができる。レンタルして、自宅で取り組めるプランもある。

Neuro HALFIT[®]は、HAL[®]という最先端技術を取り入れた運動プログラム。全国17ヶ所にあるロボケアセンターで提供しており、HAL[®] 腰タイプなどをレンタルして、自宅で取り組めるプランもある。

自分の意思で「動く」「歩く」を諦めない。

「身体を動かさそうとする脳からの信号を検知し、その信号に合わせて身体の動きをアシストする」

そんな画期的な技術があることをご存知だろうか。その技術とはCYBERDYNE株式会社が開発した世界でも珍しい装着型サイボーグ「HAL[®]」だ。人が身体を動かさそうすると、その運動意思に従って脳から微弱な電気信号が筋肉へと伝達される。HALはその時に皮膚表面に漏れ出る微弱な「生体電位信号」を検出して、装着者の意思に従って身体の動きをアシストしてくれるのだ。自分の身体と一体化したかのように自然なタイミングと強さで動くHALは、まさに新感覚。脳卒中・脊髄損傷などの後遺症や身体機能の低下によって、自力で身体を動かすのが難しくなった人でも、HALを装着することで、歩く・立つ・座る、腕を動かすといった運動を無理なく繰り返し行うことができるのだ。現在、日本にはリハビリを受けたくても受けられないリハビリ難民が200万人以上いると言われていた。それは医療保険適用のリハビリには回数制限が設けられているからだ。たとえば脳

卒中の場合、病院

でリハビリを受けられる期間は発症から最大で約6ヶ月間。以降は病院でリハビリを受けることができない。全国17ヶ所にあるロボケアセンターはそういった人のための受け皿として、HALを取り入れた運動プログラムである「Neuro HALFIT[®]」を提供している。歩行をアシストするHAL下肢タイプ、肘や膝の曲げ伸ばしをアシストするHAL単関節タイプ、立ち座りなどの体幹運動をアシストするHAL腰タイプという3種類のHALを駆使し、専門スタッフが一人ひとりの目標に合わせてメニューを組んでいる。Neuro HALFITは「動く」「歩く」という感覚をただ体感するだけでなく、装着型サイボーグHALを使用し、意思に従った運動を何度も繰り返し行うことで自立をサポートするプログラムで、全国各地のロボケアセンターで提供されている。さらに、HAL腰タイプをレンタルして自宅で取り組めるプログラムもあり、外出が困難であったり運動不足に

なりがちな高齢者などの

QOL/自立度の維持向上に繋がることを期待されている。可能性を信じて諦めない—そんな人の多くが、ここでのリハビリを通じて社会復帰を果たしているのである。HALへの期待値は高く、大同生命保険などの一部保険商品には付帯サービスとしてNeuro HALFITプログラムの無料提供が組み込まれている。また、Neuro HALFITプログラムはリハビリ分野に限らず、アスリートのパフォーマンス向上や口コモチップシンドローム及びフレイル予防のための活用など、幅広い分野で注目が集まっている。特に腰タイプを使用した健康増進プログラムを導入している自治体も増えており、ロボケアセンターでも腰タイプに特化したプログラムを提供する新形態の店舗がオープンしている。

下肢に障害がある人の歩行運動をアシストするHAL[®] 下肢タイプ。子供から大人、高齢者まで様々な人が装着できるラインアップがある。



Neuro HALFIT[®]
powered by CYBERDYNE

ロボケアセンター 個人レンタルストアサイト



お問い合わせ CYBERDYNE 株式会社



ROBOCARE CENTER Group

ロボケアセンター グループ produced by CYBERDYNE

腰タイプによる
健康促進プログラム

